

第 91 回大阪地方メーデー宣言

私たちは、本日、第 91 回大阪地方メーデーを開催した。

本メーデーが Web（ウェブ）開催となったことから、宣言案も Web を通して訴える。

今、新型コロナウイルス感染症の拡大が人々の命と健康を脅かし、社会のあらゆる分野に深刻な影響を及ぼしている。ウイルスの感染拡大は、経済活動を急速に収縮させ、先の見えない不安が社会に広がっている。人手不足といわれた雇用環境も一変し、多くの働く仲間と家族が困難に直面している。戦後最大の国難ともいえる状況乗り越えるためには、グローバルな連携と、強い連帯、そして信頼できる政治が不可欠である。経済・雇用・社会に安心と安定を取り戻すためにも、政労使一体となった取り組みが求められている。

政府による緊急事態宣言の発出を受け、大阪においても、多くの企業・団体が休業を余儀なくされ、事業継続・雇用維持に向けた施策は待ったなしの状況である。大阪府域の自治体が一体となって取り組まなければならない中、分断を持ち込むような動きを許すわけにいかない。私たち連合大阪は、働く者の代表である労働組合として、幅広いステークホルダーと協働し、自治体だけでなく国による緊急措置を強く求めていく。

私たちを取り巻く脅威はウイルスだけではない。毎年、日本各地で甚大な自然災害が生じ、今なお多くの被災された方々が、不自由な生活を強いられている。私たちは、被災地の復興・創生に向け、災害を風化させない幅広い運動を展開していく。

また本年は、戦後 75 年の節目の年である。戦争を二度と繰り返してはならないという平和への誓いを、次世代にしっかりと継承するとともに、誰一人取り残されることのない公正な社会の実現に向け、「SDGs（持続可能な開発目標）」の達成をめざし、取り組みをさらに強化していく。

メーデーは、世界の働く仲間が集い、働く者の権利を求め、団結と連帯を誓いあう日である。連合大阪は、連合本部・近畿ブロック各地方連合会と連帯し、改めてメーデーの原点・意義を振り返るとともに、メーデーを通じて、すべての仲間と連帯することの大切さを見つめなおし、「働くことを軸とする安心社会～まもる・つなぐ・創り出す～」の継承・深化に向けて全力を挙げて取り組むことをここに宣言する。

第 91 回大阪地方メーデー 万歳！

2020 年 5 月 1 日

第 91 回大阪地方メーデー実行委員会